

人材育成

「人材育成」取り組みの基本的な考え方

「人材育成」の領域では、トヨタの理念である「モノづくりは人づくりから」との考え方を踏まえ、次世代を担う人材の育成に向けて、就労・就学面での支援や、豊かな感性を育み、モノづくりの大切さを伝える活動をグローバルに推進しています。

【事例紹介】

「科学のびっくり箱！なぜなにレクチャー」モノづくりの大切さを伝える科学工作教室

日本 | 主体：トヨタ自動車 (TMC)

【概要】

青少年の理科離れという社会的課題への取り組みとして、小学校高学年を対象とした科学工作教室を1996年から毎年開催し、子どもたちに「モノづくりの大切さ」や「科学の楽しさ」を伝えています。講師は社員である「トヨタ技術会*」の有志メンバーが務め、全国の科学館・博物館やトヨタの関連施設・事業体で、参加費無料のレクチャーを行っています。「空力ボディ」や「手作りハイブリッドカー」など、専門分野を生かして考案したトヨタオリジナルのプログラムで、子どもたちの創意工夫を引き出します。

*トヨタ技術会：会員の技術向上および親睦を図り、さまざまな事業の技術分野の発展への寄与と地域社会への貢献を目的とする社内団体で、会員数は約3万人。

【これまでの実績】

全国47都道府県で累計約400回のレクチャーを実施、延べ3万2,700人の子どもたちが参加。



空力ボディプログラム

手作りハイブリッドカープログラム

「聾学校児童のトヨタ見学会」社員との交流を通じてクルマとモノづくりへの理解を

日本 | 主体：トヨタ自動車 (TMC)

【概要】

40年以上続く地域貢献活動で、販売会社と協力し、愛知、三重、岐阜、静岡の聾学校の児童をトヨタ本社に招き、トヨタ会館および工場の見学、作業訓練体験などを通じて、クルマとモノづくりへの理解を深めていただきます。この見学会では、聾学校を卒業しトヨタで働く先輩たちが仕事内容を説明するほか、組立作業訓練や「カイゼン」について学びます。こうした体験の中で、クルマへの興味と将来への夢を持ってもらえるような機会になることを目指しています。

【これまでの実績】

2017年度招待者数：71人
累計開催数：45回
累計招待者数：約4,000人



聾学校出身の従業員と一緒にトヨタ会館を見学

「トヨタ原体験プログラム」

全国トヨタ販売店と協力した、小学校への「クルマ」を題材にした出張授業

日本 | 主体：トヨタ自動車 (TMC)、全国トヨタ販売店

【概要】

身近なクルマを通じて、子どもたちの五感を刺激し、ワクワク・ドキドキするような体験ができる出張授業を、全国各地の販売店とともに取り組んでいます。対象となるのは小学4年生と5年生。理科や社会科の授業の一環として、「体感しながら楽しく学ぶ」をテーマに、実車も教材に用いてクルマの仕組み、環境や経済とのかかわりなどを紹介します。こうしたリアルな実体験の一つひとつのシーンが、原体験として子どもたちの心に刻み込まれるような活動になることを目指しています。

【これまでの実績】

2017年度開催校数：453校 累計開催校数：3,267校

2017年度参加者数：約2万2,000人 累計参加者数：約16万人



クルマと環境に関するゲーム形式の学習



実車を使用したクルマの仕組みの学習

「豊田工業大学」 国際産業リーダー育成に取り組む

日本 | 主体：トヨタ自動車 (TMC)

【概要】

豊田佐吉の遺訓「研究と創造に心を致し、常に時流に先んずべし」を建学の理念に、1981年に設立。教員1人に学生約10人の徹底した少人数制と、実験や実習を豊富に取り入れた体験型学修(実学)により、創造性に富む実践的な開発型技術者を育成し、開学以来の学生の就職率は100%を維持しています。2003年にはシカゴ大学と連携して「豊田工業大学シカゴ校」(大学院大学)を開校し、情報科学分野での研究交流とレベルの高い国際化教育に取り組んでいます。2011年、キャンパス刷新計画をスタートさせ、本校校舎は2020年の完成を目指しています。

【これまでの実績】

一般学生の累計就職者数：1,072人*

社会人学生の累計卒業生数：1,499人*

*いずれも学部・修士の合計数



豊田工業大学



豊田工業大学 シカゴ校

Web <https://www.toyota-ti.ac.jp/index.html>

夢を持つことや仲間の大切さを子どもたちに伝えたい、MIRAIへつなぐ『夢の教室』in 豊田

日本 | 主体：日本サッカー協会 (JFA)、豊田市、中京大学、トヨタ自動車 (TMC)

【概要】

日本サッカー協会が全国160の自治体と取り組んでいる「JFAこころのプロジェクト」。トヨタは2015年度から地元愛知県豊田市で開催される「夢の教室」に支援団体として参加。

トヨタ運動部に所属するアスリートたちが、JFAや中京大学から派遣されるアスリートらとともに夢先生として小学校を訪れます。夢先生は、体育館でのクラス全員で目標を目指すゲームや、教室で夢曲線*を使った語り合いを通じて、夢を持つことの素晴らしさ、努力を続けることや仲間の大切さを伝えます。

【これまでの実績】

豊田市内の113小学校250クラスで開催。

トヨタ派遣の夢先生117人

(運動部、個人アスリート、技能五輪選手)



夢先生を務めたトヨタ自動車 森井大輝 (パラアルペンスキー)



*夢曲線：夢先生が、夢を追いかける過程で、どのような困難があったのか、そしてそれをどのように乗り越え、その際に何が得られたのかを示すもの